

会 議 録

会議の名称	第3回 行田市施設検討委員会
開催日時	平成20年2月19日(火) 開会；午後2時・閉会；午後2時30分
開催場所	行田市役所 2階 203会議室
出席者(委員) 氏名	市川一夫委員 大須賀伊司郎委員 堀籠秀直委員 宮本伸子委員 村田次郎委員 大澤頼子委員 松岡 隆委員
欠席者(委員) 氏名	
事務局	高橋総合政策部長 棚澤企画政策課長 門倉主幹 石川主任 説明者： 小林中央公民館長
会議内容	・ (仮称)桜ヶ丘公民館建設について
会議資料	(資料名・概要等)
その他必要 事項	傍聴者 5名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会 委員長	1 開会 2 あいさつ 3 議事
司会	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）桜ヶ丘公民館建設について ・ それでは、ここからは、行田市施設検討委員会設置要綱第6条の規定に基づき、委員長に議長として議事の進行をお願いする。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、暫時、議長を務めさせていただく。議事の進行が円滑に進むよう、皆様のご協力をお願いする。 ・ 議事の「（仮称）桜ヶ丘公民館建設について」委員の皆様にはすでに2回ほど検討していただいている。まずは、私から質問するが、今、行田市では1小学校区1公民館の建設が基本となっていることは、今までの会議から理解できた。ついては、桜ヶ丘小学校の建設年と周辺地区の人口の推移をお知らせいただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桜ヶ丘小学校は昭和57年に建設された。周辺地区人口は、小学校建設時の昭和57年4月時点で約6,350人、最も多い昭和59年3月時点で約6,500人、現在の平成20年2月1日時点で約6,200人である。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桜ヶ丘小学校周辺地区は、昔と比べると家も増えているように感じられ、比較的人口も増加しているのではないかとの思いもあったが、それほど増えていないということか？
事務局 議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ そのとおりである。 ・ また、前回開催時には、地元の意見として長野公民館長の意見書が提出されたが、その後、本日にいたるまで、他に何か地元の意見として把握できるものが更に出てきたか？
説明者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1月31日に桜ヶ丘自治会の副会長以下6名の連名により要望書が市長宛に提出されている。内容は、桜ヶ丘自治会は公民

議長	<p>館建設での合意形成がされており建設をしていただきたい、とのことである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ このように地元の要望が更に出されたようである。このことを踏まえたものや、あるいは、まったく違った視点からのものでも結構なので、意見や質問があったら発言をしていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 回目の会議以降、様々な人から意見を伺った。その結果、分館の規模のような公民館建設が適当であると思う。その理由としては、今後、既存公民館の改修費がかかってくるのが要因としてある。建設されてから 20 数年経った建物の改修費を賄いながら更に多くの金額をかけて施設をつくることは、後々、財政に響いてくるだろう。平成 15 年に改定された現在の公民館の設置及び運営に関する基準によると、公民館の対象区域として、それまでは、小学校又は中学校の通学区域という条件が掲げられていたが、その言葉がなくなった。しかし、1 小学校区 1 公民館を建設するという事を考える必要もある。公民館は地区の人々の心の拠点、あるいは、防災拠点などにもなりうる。更に、今までの行政の継続性も尊重すべきである。ということから、特定の人々だけでなく、地域住民がまんべんなくサービスが受けられるような施設となるべきであるとも思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私は、地域の活動が不自由にならないように何らかの形で施設をつくることには賛成である。ただ、現在の経済情勢、財源、住民自治のあり方などを考えるとその地域の人々が自主的に運営できる規模が望ましいと思う。この地域の活動が更に活発になるように、その規模や運営方法の検討も図るべき。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ランニングコストがかからないように工夫することは大切なことであると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、そして今後の自治体運営を考えると、様々な財政状況を踏まえてスリム化していかなければならないだろう。そして、

	<p>公民館のような住民自治を両輪としていくことは、必要不可欠なものである。1公民館1小学校区という行政の継続性は必要であり、その上で、効率性を軸とした方向性で運営なども考えると、従来とは違う運営方法も検討の一つとすべきと思う。行田市においても世の中の流れを踏まえて、新しいスタイルでやっていくことが望ましいのではないか。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設することに賛成である。ただし、公民館長や事務職などを配置せず、分館のような機能とすべきである。そして、今までの長野地区の活動を損なわないように配慮し、この施設建設によって更に長野地区の活動が活発になるようにすべきである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要望書も提出されたことから、永年の経緯も踏まえて、尊重すべきであると思う。ただ、1公民館の人件費が現状で500万円くらいかかっていることを考えると、あまり、経費がかからないような規模など、工夫をすべきであると思う。公民館など施設の維持経費が今後の少子化の流れの中で適切に負担できるのかも考えていくべきである。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他に質問や意見があるか？
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話を聞くと、長野地区は活動が活発な地区の一つである。また、長野公民館の現在の立地条件を踏まえるべきでもある。この地区は国道125号線が通っている。もし、(仮称)桜ヶ丘公民館を建設したとき、地元の桜ヶ丘自治会を含めた地元の人が自由に利用できることが望ましい。効率的に使うことを考えれば、複数の自治会が自由に使えるべきである。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回からの会議でも出ていたように、長野地区において、現在行っている活動が、この公民館建設により、仲違いしないように配慮することが必要である。みんなが効率よく使えて、地区の活動がより活発になることが重要である。 ・ 他に意見は？
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私もいろいろ情報収集などして勉強をしたが、この地区は活動

説明者	<p>が盛んな地区というふうに感じられた。また、今までの会議の中でも出ていた懸念として、桜ヶ丘公民館が建設された後、他地区から建設要望が出されたときの対応についてどう考えているか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そもそも、公民館の建設は社会教育法に基づき、住民の文化的教養を高めるなどの目的のため市町村が設置するものとされている。配置については様々な条件があるが、これまで行田市は小学校区としている。このことにより、活動の機会均等が図られ、更には小学校との連携も可能である。担当としては、まずは、桜ヶ丘小学校区に公民館を建設することで均等な配置を達成していただき、その後は公民館同士の相互利用などの有効利用を検討していき、利用者に不自由ないようにしていきたいと考えている。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他に意見などはあるか？ <p style="text-align: center;"><なし></p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の皆様の見解を聞いてみると、様々な視点からの意見が出ているので、次回、そのような意見を踏まえて更に検討していきたい。 ・ 次に、議事の（２）「その他」とあるが、事務局から何かあるか？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありません。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、これにて議事を終了する。慎重審議いただき誠に感謝する。委員の皆様方におかれては、本日までの審議内容をもう一度頭の中でよく整理し、次回開催時の発言をお願いする。 ・ これをもって、議長の職を解かせていただく。
司会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重なご意見、ご提言をいただき、感謝申し上げます。次回も引き続きお願いする。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 以上をもって、本日の行田市施設検討委員会を閉会する。 |
|--|--|